

令和7年千葉県公衆浴場入浴料金等協議会 概要

- 1 日 時 令和7年11月7日（金） 午後2時00分～午後3時10分
- 2 場 所 自治体福祉センタービル4階 会議室
- 3 出席者 安藤委員、飯田委員、坂元委員、萬谷委員、永富委員、大塚委員、土肥委員、
藪崎委員、石川委員（9名）
- 4 会長・副課長の選出
委員の互選により選出
会長：安藤委員 副会長：飯田委員
- 5 議 事
(1) 入浴料金の改定について
(2) その他
- 6 議事内容要旨
(1) 入浴料金の改定について
【事務局から「資料」に基づき説明】

（安藤会長）

数字がかなり羅列されているので、さっと見ただけではわかりにくいと思いますが、今日の新聞にも水道の値上げについて出ていました。水道だけでなく、重油、石油関係も高値安定になっているということを含めると、経営実態としては厳しいと認識いたしました。

それではただいまのご説明に対しまして委員の皆様からご意見、ご質問を伺いたいと思います。

（萬谷委員）

資料の数値の関係で細かいことで恐縮ですが、18ページの資料で水道料金の値上げを汲んで試算をしたというところがありますが、水道料金のところを見ると令和5年から令和6年にかけて3倍以上上がっているのですが、これはこういった背景があるのでしょうか。

（事務局）

背景を把握はしきれていないところではありますが、公衆浴場の実態として、井戸水を使われているところが多いので、契約している水道を使うか使わないかで例年の料金の差が出てくるということが原因の1つとしてあります。また、令和5年から令和6年ですが、令和5年5月まで新型コロナウイルスが感染症法上でそれなりの対応をされていた時期でもありますので、その点を踏まえると浴場側の状況や利用者側が浴場を利用しに行くかどうか、その行動変容を受けることで、令和5年と6年で少し差が出て、水道料金の差になった

と推測しているところです。

(萬谷委員)

わかりました。

(安藤会長)

そうですね。令和5年と令和6年で変化はありますね。

令和6年から少し上がっている感じがありますね。何かございますか。

(土肥委員)

はっきりは言えませんが、下水道料金が上がったのではないかと。

我々は水道をそんなに使いません。コインランドリーを併設している店によっては、コインランドリーの洗濯機が全開しだすと井戸水が足りなくなってしまうので、せつかくあるからと水道水を使っている方もいます。そういった対応で下水道料金が発生してきて、こんなに上がっているのではないかと思います。

先月だったか、県の水道局の方が来て、来年水道料金がぐっと上がる、18.6%よりも少し上がるような話をされていたので、みんなで青くなっている。20%から30%前後まで行くのではないかと。仕方がないのかなと思いますが、そのあたりから入浴料金を値上げさせていただきたいという話になった。

(安藤会長)

ありがとうございます。坂元委員、何かございますか。

(坂元委員)

エネルギー価格だとか物価高騰の影響というのは、今、大変苦勞されていると思いますが、入浴者数は減っていないということで、一定数必要な方はいらっしゃるということだと思います。

ただ、この近年の物価上昇率、あるいはその賃上げ率、この辺は3%か4%程度だと思います。今日見させていただいたこの案で見ると、500円から550円と10%程度値上げということで、こちらの方は消費者からは、なかなか納得が得られない数字になるかなという感じがします。

(土肥委員)

燃料高騰や水道料金の値上げ、その他のものもかなり上がっています。例えば、さらし粉や塩素をお風呂に入れていますが、これも値段が上がっています。入浴剤を入れて毎日やっている店もありますが、これもあつという間に上がりました。あと、始まりの入浴料金が低

い点も配慮していただきたいと思います。もちろん、高齢者に対する色々なものを補助金という形で行政にやっていただいています。それでも、この全盛期に料金を抑えられていたということがずっと響くかと思います。

(安藤会長)

確かに、お風呂屋さんは安かったですね。ただ、資料12ページの各都道府県料金を見ると、大阪は600円、千葉・埼玉は500円なので、現状でも東京や神奈川に比べると安いんですよね。さっきのシミュレーションでもそうですが、経営状態からこのまあいってもお風呂だけでは儲からない状態なので、その辺も加味するとよく合っている感じはいたします。

他にご意見はございますか。永富委員、いかがでしょうか。

(永富委員)

私はむしろ値段を上げた方がいいと思っていたのですが、前回の協議会では、一方で上げすぎてしまうとお客さんが来なくなるとか、そういうことも伺っています。今回550円というお話ですが、資料を見ますと、例えば修繕費が少なくなっているのも、老朽化施設がある中で、550円で大丈夫かなと逆に心配するところではございます。色々ご検討された結果550円ということだとは思いますが、そこだけ気になります。

あと、最低賃金でも何でもそうですが、埼玉県が今年どういう状況になっているのかというのも気になります。(千葉県は)自家風呂率も埼玉県とほぼ同じぐらいなので、千葉県の消費者にもある程度ご理解をいただくためには、埼玉県の動向もわかるとありがたいなと思っています。以上です。

(安藤会長)

ほかにご意見はございますか。大塚委員、いかがでしょうか。

(大塚委員)

婦人の会は、昔は国のために値上げは反対というのがあったのですが、今の段階で550円は妥当か、かえって少ないのではないかなとというのが私の考えです。なぜかと言うと、最近浦安市から銭湯がなくなってしまいました。東京都は補助金や助成金が結構出ているけど、千葉県を含めて他のところはさほどでもなく、浦安市は高齢者に対して無料で入れる老人福祉センターのお風呂があります。そういった施設の影響もあって(銭湯を)使う方が減ってきて、維持できなくなってしまったのかなと。そういうことがないようにするため、550円は妥当じゃないかなと思います。

(安藤会長)

坂元委員、そういう意見もありますが、どうですか。

(坂元委員)

５５０円っていうのが、妥当かどうかっていう話でしょうね。色々な要因がありますね。

(土肥委員)

我々も５５０円で満足とは思っていませんが、お客さま商売なのでそこまでは無茶は言えません。やっぱり年金暮らしの方々がほとんどで、若い方はあまり来ない。中人と小人は、平成７年に上げて、それから子供たちが多い時期もありましたが、少子化で子供たちも減ってきて、３０年間ずっと我慢していましたが、今回は、中人２００円、小人１００円にしたいと。なぜ我々内部で支持されたかという、計算がしやすいのです。一昨年に大人を５００円に上げた時もすごく計算が楽ということで支持されました。そういうわけで、今回は２００円と１００円に。今、子供はほとんど来ません。毎週土曜日に子供の日というものを作っていて、親子で銭湯、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、なんなら兄弟と来てもいいよという日なのですが、多い時で１０人、少ないと０人です。子供がもう銭湯に興味がない。子供が風呂行こうって言うと、大人がたまには行こうか、なんてなるのでしょうかね。その辺の努力が少し足りないことは重々わかっていますが、なかなか難しいところがあります。ありがたいお言葉いただいて、感謝申し上げます。

(安藤会長)

競合相手としてというか、スーパー銭湯が最近できていますが、結構子供さんがいますね。ああいう人たちを客として戻せるような施策などは考えておられないですか。

(土肥委員)

お風呂が熱いんです。大体皆さん、温度を落としています。それでもスーパー銭湯から来る人は熱いって言っている。これ以上温度を落とすとなかなかと思っている、今日この頃でございます。

(安藤会長)

ありがとうございます。飯田副会長、いかがでしょうか。

(飯田副会長)

私もコンサルタントをさせてもらっていますが、資料を見た上でシンプルに考えますと、この売上というのは、単価があって客数ですよ。５００円、５５０円と単価の話をずっとして、もう１つはやはり客数ということ。この資料だと、今の２１，１００人が基本的には横ばいできていますが、今も色々やられているとの話をいただきましたが、是非これを盛り返していければ、黒字化というところが現実に見えてきますでしょうし、そういった

ものが、設備投資にもつながると思います。厚生労働省がこういうもの（厚生労働省から出されている生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのマニュアル公衆浴場業編）を作っており、読んでみると、銭湯の利用シーンを提案しようということで、ランナーズ銭湯やコンサート、朗読の開催、どこまでできるのかわかりませんが、多分全国の中にはこういったことで、かなり盛り返しているところがあるから、厚労省も言っているのかなと思います。これは事務局からご紹介いただければと思います。単価の話と客数の話を常に普段の取り組みということで、盛り返していただければよろしいのではないかなとは考えております。

（安藤会長）

ありがとうございます。

委員の方からは一通りご意見を伺ったと思いますが、事業者さんの方から最後に何かありますか。

（薮崎委員）

固定資産税がものすごく上がっており、相続税が払えないからやめてしまう。また、設備費や建て替えなどの時期になるとそれが不可能になってしまうからやめるお風呂屋がものすごく増えているのです。550円への値上げの他に、風呂屋を建て替える時のお金の半額補助なども、県や国や市に考えてほしいと思います。

以上です。よろしくお願いします。

（安藤会長）

最初に始めた方がもう高齢で、2代目、3代目というケースもあるでしょうし、設備そのものも老朽化してきますから、そういう設備投資もあると思います。これは今回の協議会の議題と少し離れますが、そういう意見があったということで。

（薮崎委員）

よろしくお願いします。

（安藤会長）

石川委員、何かございますか。

（石川委員）

銭湯のお客が少ないという話で、全国連や千葉県浴でもなんとか入浴者数を増やそうと色々なイベントでお客を楽しませようとしています。銭湯の認知度が低いかなと思って。銭湯に行ってみるといって人たちが少ないので、色々なイベントをやっています。話は別になりますが、電気料金やガス料金の国の支援策が9月で終わりました。ガス料金につ

いては、これから寒くなるため少し心配していると経営者から聞きました。特に露天風呂をやっているところは、料金がかかり大変ではないかと気にしていました。それから設備や建物の老朽化については、直したいけど収入が少ないから、国庫から借りてもお金を返す余裕がないということを聞きました。

(安藤会長)

ありがとうございます。露天風呂とかあるのですか。

(石川委員)

結構あります。

(安藤会長)

そうですか。ありがとうございます。設備投資の問題は、収益を上げていかないと、なかなか返済ができないという問題もありますね。

(大塚委員)

イベントもやられていると思いますが、若い子たちが「映える」ってよく言いますよね。子供を呼ぶのに小学校や幼稚園と連携して、作品展を銭湯の中でやったら子供たち来るんじゃないの？親が来るんじゃないの？という話をちらっとしたんですよ。そうしたら、そんなことやるより「映える銭湯」ということで、地域の人に絵を描いてもらって、そうするとそれがちょっと有名になると「映える銭湯」に化けるよって言うんです。作品じゃないけれど「映える銭湯」というものを探っていくのもいいのではないかなと思いました。あと、露天風呂にホッと一息つけるところがあると、若い子たちが銭湯に行くっていう話も少し聞きました。

(安藤会長)

ありがとうございます。やはり銭湯事業者側から消費者にもう少しPRというようなこともあるのでしょうか。事業者側からの働きかけ、今大塚委員がお話しされたようなことも含めて、そういうことも必要なのかなという感じがしました。

(飯田副会長)

去年地元の山梨で銭湯に行きましたが、やはり何か特徴を出していくしかないかと。スーパー銭湯と大きさとかで競う術はないと思います。他の業種もそうですが、物事を何か1つやるにはやはり2年3年と成功と失敗を重ねながらみたいところがあると思います。実際に私が支援している中小企業さんでは、やはり半分以上失敗で、数年やって1つ道ができるみたいところがありますので、先ほどの厚労省のチラシに書いてあるという紹介にな

ってしまいますが、そういったものを組合さん、あと各銭湯さんで見つけていただき、もしまたお会いする場があれば、そういったものを元に何かお話し合いができればいいのかなと思いました。

(安藤会長)

ありがとうございました。大体よろしいですか。この協議会が入浴料金の検討ということで、皆さんのご意見をうかがいました。大体意見が出尽くしたようですので、事務局に司会をお返ししたいと思います。よろしいですか。事務局から何かありますか。

(2) その他

(事務局)

今後のスケジュールについて、説明します。本日皆様からいただきました様々なご意見を参考としまして、今後料金の改定を検討してまいります。最終的には知事が指定することとなっておりますので、年明け早々に改定ということで予定しているところです。

(安藤会長)

スケジュールに関して何か質問やご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、これで議事を終了したいと思います。